



食品廃棄物で発電



豊中市に1号店を構える大手スーパーマーケットチェーン『株式会社ライフコーポレーション』では、食品廃棄物の

削減とCO2排出量削減など、環境に配慮した再生可能エネルギーでの発電を実現するバイオガス発電設備を大阪市港区天保山に新設されました。



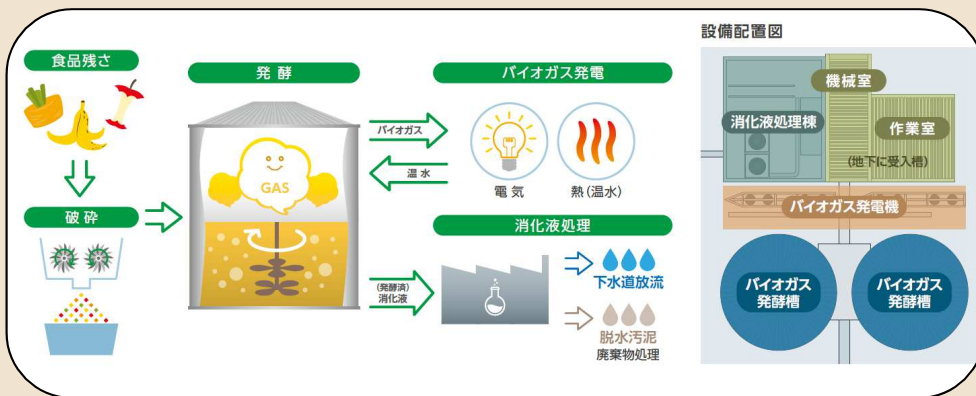
天保山バイオガス発電設備 2022年3月に稼働



バイオガス発電とは



バイオガス発電は、食品廃棄物などを発酵させ発生したバイオガスを燃料に発電を行うシステムです。焼却処分される食品廃棄物を利用するため、廃棄物はもちろん、地球温暖化の原因であるCO2削減など環境への負担を減らすことができます。



今、注目されている再生可能エネルギーです。

『株式会社ライフコーポレーション』では、このシステムで年間約4,380トンのごみを削減し、発電量は年間70万kwhを見込まれています。

今回紹介させていただいた『株式会社ライフコーポレーション』の取組みは、食品廃棄物の削減、再生可能エネルギーでの発電により、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」目標13「気候変動に具体的な対策を」に大いに貢献するでしょう。このような大きな企業の取組みは、循環型社会の構築に必要な不可欠ですが、豊中市全体では、個人商店などの小規模な事業所が多くあります。小規模な事業所での小さな取組みであっても広がることで大きな成果を生みます。このリニューズでは取組みやすい、ごみ減量の方法なども掲載しています。豊中市HPにバックナンバーをアップしていますので、ぜひご覧ください。

【バックナンバーについて】

「Renews」はバックナンバーも含め市ホームページからもご覧いただけます市ホームページの検索機能で「Renews」で検索！

【発行】 豊中市 事業ごみ指導課 一般廃棄物指導係 TEL06-6858-2278
Mail jigyougomi@city.toyonaka.osaka.jp

【協力】 豊中商工会議所



スペシャルインタビュー

豊中SDGsネットワーク

げし せいさく
下司 聖作さん



インタビューアー: (イ) 今年度の事業系一般廃棄物管理責任者研修会の講師ありがとうございました。

下司さんは、「豊中SDGsネットワーク」と「ウータン森と生活を考える会」では、どのような活動をされていますか。

下司さん: (下) 「豊中SDGsネットワーク」では、SDGsの事例等を企業間のディスカッションを通じて学び、知っているだけではなく実践へとつなげていく活動をしています。

「ウータン森と生活を考える会」では、現地NGOと協力して在来種の植林活動や、実際にボルネオ島で生活してもらうエコツアーで森の状況を知ってもらう活動をしています。

(イ) 環境活動を始めたきっかけなどあれば教えてください。

(下) オランウータンは絶滅危惧種で、マレー語で「森の人」といいます。そのオランウータンが暮らす森がなくなるとは私たち人間もこの星で暮らす場所がなくなるのではないかと、森を守ることを軸とした環境活動を始めました。



(イ) 豊中SDGsネットワークに参加するための条件はありますか。

(下) 条件は特にありません。企業向けのプログラムですが、個人でも参加していただけます。

同業種ばかりではなく異業種が集まることにより気づき生まれることもありますので、いろいろな業種の方に参加いただきたいと思います。

(イ) 2019年にeco検定アワード優秀賞を受賞されていますが、どのような活動を評価されたのですか。

(下) 学生に講師体験をしていただき、環境問題を伝える側の人を育てたことなど、できるだけ多くの人を巻き込み広げていく活動を重点的にやってきたことが評価されたと思います。

(イ) 最後に、持続可能な社会に向け、事業者のみなさんに一言お願いします。

(下) 世界共通の成長戦略がSDGsです。SDGsはコストではなく事業存在そのものです。自社の強みを活かして社会に貢献してほしいと思います。

(イ) 今回は研修会の講師並びにインタビューへのご協力ありがとうございました。



令和4年度 事業系一般廃棄物管理責任者研修会の様子



大将！紙はごみじゃなかったよ！！

リデュースVol.20で紹介した「とよなか環境TV」の動画、大将捨てないで！～紙はごみではありません～をご視聴いただいた旭丘こども園の先生から、嬉しいニュースが届きました。



とよなか環境TV 検索

動画では、古紙を溶かしてハガキを作るリサイクル実験を紹介しました。

旭丘こども園では、園児のみなさんが、動画を参考に、飲み終わった牛乳パックなどを材料に、ハガキを作成し、給食から出た玉ねぎの皮の煮汁で染色した、今年の干支であるトラの絵を描いた、エコで素敵な年賀状を作成してくれました。



事業ごみ指導課では、今後もみなさまのお役に立てる情報を発信していきたいと思っております。旭丘こども園のみなさま、ありがとうございました。



資源を大切に
してくれて
ありがとう！



機器管理者のみなさまへ



フロン排出抑制法の改正(2020年4月施行)により
**業務用エアコン・冷凍冷蔵機器を
廃棄する時の規制が強化されました。**
機器は捨てるまできちんと管理を！

**機器を捨てる際にフロン類を回収しないと
即座に罰金が科されます！**

フロン類を回収しないまま機器を廃棄すると、行政指導などを経ることなく
即座に刑事罰(50万円以下の罰金)の適用対象となります。
機器廃棄時には必ず充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

詳細は、フロン排出抑制法ポータルサイトをご覧ください。

フロン法ポータルサイト

検索



編集後記

SDGs 目標13「気候変動に具体的な対策を」は、「温暖化による地球の影響を知る」「温室効果ガスの削減に向けた努力をする」がポイントとして挙げられています。1人1人が気候変動に関心を持ち、小さなことから取り組むことで子どもや孫、さらにはその次の世代が住み続けられる地球を作ることができるのではないのでしょうか。